

SKI Instructor of JAPAN



INSTRUCTOR 第40号

日本スキーチーム指導者協会会報

2024年10月1日発行

卷頭言



会長 坂本 祐之輔

暑い夏が過ぎて実りの秋を迎えました。指導者の皆様には、日頃より日本スキー指導者協会に対し温かいご指導ご鞭撻をいただきスキースポーツの普及発展のためにご尽力をされておりますことに心から感謝を申し上げます。

第33回夏季オリンピック競技大会がフランス・パリにおいてが開催されました。

”花の都”と形容されるパリを舞台に32競技329種目で熱戦が繰り広げられ、選手の汗と涙に、多くの人々がくぎ付けとなりました。

日本選手団は、選手団が掲げた金メダルが20個の目標を達成。さらに、銀は12、銅が13と総数とも海外開催の五輪では最多で、前回東京に次ぐ歴代2位となりました。

皆様も、それぞれの競技を観戦されたと存じますが、私は総合馬術団体で自称「初老ジャパン」がアクシデントを乗り越え、実に92年ぶりにメダルを

手に入れたことに感動いたしました。若い選手が活躍する五輪競技において、あきらめることなく挑戦を続けた「初老ジャパン」。年齢を問わず活躍することができるスキースポーツにも夢を与えてくれたのではないかでしょうか。

我が国では少子・高齢化や気候変動などの影響もあり、スキー場やスキー愛好者が減少する中で、長年にわたりスキーに親しみ指導してきた皆様の活躍こそがスキー界の活性化の原動力です。

指導者の皆様には、来るべきシーズンに向けてしっかりと体調を整えていただき、多くの方々が楽しむことができる生涯スポーツとしてのスキースポーツの普及振興にお力をいただきますようお願い申し上げます。

季節がめぐり、輝く白銀の世界で、美しい山々や澄んだ空気の中で自然と一体になる世界を夢見て。



40号特別寄稿 これまでの十年、これからの中

IVSI国際スノースポーツ指導者連盟

学術委員長 福岡 孝純

あつという間の十年であった。コロナ災禍といふこともあった。

2017年に白馬・八方で第13回のIVSIの総会が行われたことは日本にとって大変喜ばしいことであった。

スノースポーツスピリット・ワールドワイドのテーマのもとに世界23カ国から数百名のスキーインストラクターやらの関係者が参画した。開かれたスキー、特にまだ設備が不十分な国もスキーができるよう、地球規模の思いを共有しようというポリシーが確認された。

その次の大会はロシアのソチで行われるはずであったが、突然のウクライナへの侵攻により中止された。次回の大会は2025年、チェコのドルニイー・モラヴァで行われることに決定した。

新しく会長となった、ポーランドのイェルツィ・カリスキ氏からの報告によると喜ばしいことであった。

新たにリトアニア、チリ、カナダ、スロヴァキ

アも加盟し、IVSIの参加国は全31カ国となつた。

次の大会は、2025年の3月16日から3月23日まで行われる予定である。カリスキ一會長からは、日本が再び理事国として積極的にリーダーシップを持ってくれることを希望しているとのメッセージを受けている。

翻って最近の日本のスキー教育界を見ると、技術至上主義になりがちで、どちらかというと指導者に必要な心理面や社会性がないがしろにされているとの観もある。第二の黒船ともいわれるインバウンドには、指導者の資質も身体性に加え、精神的な指導、そして社会性すなわち国際性というものが求められる。私達日本も、国際的に通用する組織や指導者を作らなくてはならないと痛感する。

SIJ創立者達、特に柴田先生の希求した理念を今再び思い起こすべき時であると感じる。



40号特別寄稿 スポーツ事故の法的要点

顧問弁護士 菅原 哲朗

1、スキー・スノーボードは雪上スポーツとして爽快で楽しいが、雪面でのスピードコントロールが難しく、衝突するリスクに常に直面する。

6月29日スキー指導者協会総会後の懇親会の席でグラスを傾けながら役員の方が若いころスキー指導中にボーダーにスキー板をひっかけられビンディングが外れず膝がねじられ靭帯を断裂する大怪我を受けた、と昔話を語った。

しかも加害ボーダーは救助もせず逃げるのを仲間の指導員が追いかけ身柄を確保してくれた。加害者に治療費などの損害賠償をさせ、裁判にはならなかつたが、今も後遺症に悩ませているとのことだ。

スポーツ事故の場合、法的責任を問うには、「安全配慮義務違反」という注意義務違反が要件だ。「予見可能性」と「回避可能性」が存在しながら、不注意によって障害を加えたという過失が裁判によって認定される構造になる。訴訟では、裁判官が事実を検討し、違法性が有るか、否か、判決する。

2、最高裁判例（最判平成7年3月10日判例時報1526号99頁）は、スキー事故について、札幌高裁判決を破棄する理由をスキーというスポーツの側面に法的判断の光をあてつつ、逆転判決したので分かりやすく引用する。

札幌高裁は、「スキー場での滑走には、相当

の危険を伴う。スキー滑走を行う者には危険を回避する注意義務がある。しかしどうかは、レクレーションにとどまらず、スポーツとしての側面が大きく・・スキーの滑走がルールや、スキー場の規則に違反せず、マナーに従つたものであるならば、滑走中に他の者に障害を与えるようなことがあっても・・違法性がない。」と判示した。

最高裁は、逆に「スキー場において上方から滑降する者は前方を注視し、下方を滑走している者の動静に注意して、その者との接触ないし衝突を回避することができるよう速度及び進路を選択して滑走すべき注意義務を負う・・事故当時、下方を見通すことができ・・接觸を避けるための処置を取りうる時間的余裕をもつて下方を滑走している被害者を発見でき、事故を回避することができた・・加害者には注意義務を怠った過失があり、被害者が事故により被つた損害を賠償する責任」がある、加害者は「予見可能性」がありながら回避しなかつたと判断した。

具体的な紛争事例を考察する場合、証人の発言や専門家による意見を総合し、原告の主張する損害賠償請求とそれに対する被告の抗弁が議論され、最終的に裁判官の判断が下される。



スキーはワルツで！ 呼吸とリズム

千葉県 松戸市スキー連盟
佐藤 雄一郎

映画のタイトルではないけれど、「私は泳ぎが出来ません」北国で生まれ、プールは学校はおろか町にもなく、夏の海辺では焚き火にあたりながらの海水浴という環境で育った。

おまけに私は生まれながらの虚弱体質だったので、水泳とは全く無縁で大きくなつた。

父は、「青函連絡船(青森と函館の間の海峡を結ぶ、旧国鉄の鉄道連絡船)が沈んだら、お前は真っ先にオダブツだ!」と言っていた。

最近、住まいの近くにSport Gymが出来た。「大人のための水泳教室」があると知つて、早速入会した。

ところが、私の期待に反して、「オトナのゼロ初心者」は、私ひとりであった。

初めは水に浮くことさえままならず、文字通りアップ、アップの連続、周りの先輩たちから、いろいろなアドバイスを受けても、水中の身体は、なかなか反応しない。これではスキー初心者と同じ…と自覚し反省した。

私たちのコーチは大変親切であったが、そうは言つても、「ゼロ初心者」だけをかまつてはいられない。

カリキュラムは、どんどん進むので、私は必死だったが、なにしろ息が続かない。

四苦八苦して辿り着いた結論は、水泳とスキーの呼吸法の違いである。水泳は泳ぎながら口から空気を吸い込む。スキーでは常に鼻呼吸である。

冬の冷たい空気を鼻腔や気管で暖めながら肺に送っている。

水面上にある口からタイミングよく空気を吸い

込むのは、とても難しく、未だによく出来ない。

その後、私は「無呼吸」ならば、水中を14～15m進めるようになったけれど、これは、「水泳」とは言い難い、それどころか、「アノヒトが居ないけれど、どこかで沈んでいるのでは?」というハメになつた。

スキーの理論と技術はS A Jから毎年、教程や教本として提示されている。

私は、ひとりのスキーヤーに過ぎないが呼吸とリズムに絞った小さなアイデアをお伝えしたい。

ソーシャルダンスの中に、ワルツという種目がある。これは、ワン、ツー、スリーという3拍子でまた、強弱がシンプルなので親しみやすい。スキーの回転にこれを持ち込むと

「ワン」で大きく息を吸い込んで足に荷重し、
「ツ-ウ」で谷足でしっかりと回転し、
「スリー」で酸素交換をした息をすっかり吐いて荷重を戻す。

ということになる。

クラシックでも、モダンでも、自分の好きな3拍子のリズムを頭に響かせながら、スキーを回転させるのは、なかなか楽しい。

これは、呼吸と、リズムと、足を同期させるだけである。

また、回転中は、身体の中心軸がブレないように、しっかりとキープする。

ワルツのテンポで軽やかに、また、優雅に回転して、滑降に移るなら、スキーヤーにとってはスキーの楽しみ方がひとつ増えたと感じることだろう。



S I J の沿革

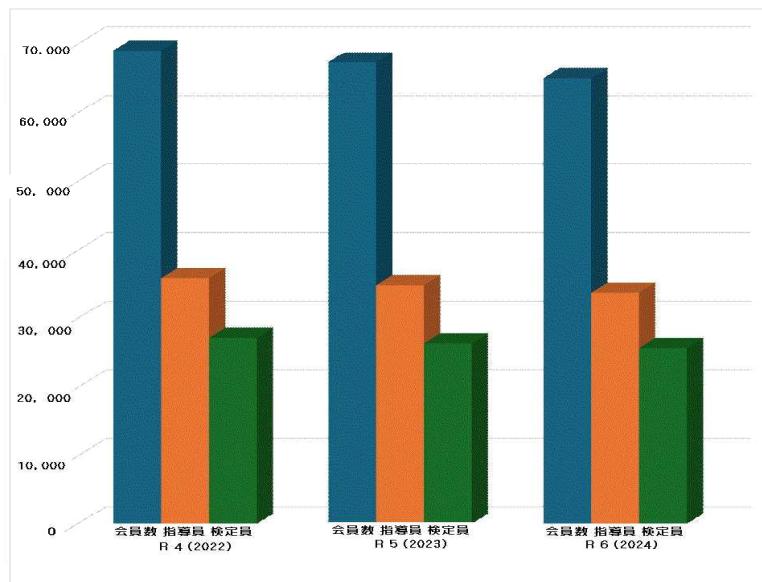
S I J 沿革

1982 昭和57. 07. 09	仮称日本スキー指導員協議会 発起人準備委員会開催 08. 27-28 仮称日本スキー指導員協会設立発起人会開催 於 田仲旅館
1983 昭和58. 06. 11	日本スキー指導員会設立準備委員会開催 於 田仲旅館 10. 30 日本スキー指導員会設立及び設立総会開催 於 日本学生会館
1984 昭和59. 05. 20	日本スキー指導員会プロック代表者会議開催 08. 26 昭和60年度日本スキー指導員会総会開催 於 岸記念体育館 11. 25 (財)全日本スキー連盟秋季評議員会承認 12. 25 <u>第1号会報創刊</u>
1989 平成 1. 08. 27	指導員制度50周年記念誌を発行 11. 11 社会体育指導者資格付与制度告示
1995 平成 7. 05. 29	第1回親睦ゴルフ大会開始 於 きぬがわ高原C. C
1998 平成10. 07. 19	日本スキー指導者協会と名称変更
2000 平成12. 04. 15	第1回S I Jカップフェスティバル開始 於 キロ口
2001 平成13. 08. 10	ホームページ開設
2002 平成14. 11. 20	日本スキー指導者協会創立20周年記念式典開催 於 スクワール麹町 日本スキー指導者協会創立20周年記念誌（会報18号）発行
2010 平成22. 08. 08	日本スキー指導者協会規約全面改正
2013 平成25. 06. 29	日本スキー指導者協会規約全面改正
2014 平成26. 10. 01	日本スキー指導者協会創立30周年記念誌（会報30号）発行
2014 平成26. 11. 09	日本スキー指導者協会創立30周年記念式典開催 於 スクワール麹町
2015 平成27. 06. 27	日本スキー指導者協会規約改正
2019 令和 1. 06. 23	日本スキー指導者協会規約一部改正（事務局所在）
2021 令和 3. 10. 1	役員改選 <u>会報37号</u> 発行
2023 令和 5. 10. 1	役員改選 <u>会報39号</u> 発行
2024 令和 6. 10. 1	<u>会報40号</u> 発行

S A J 情報

会員数の推移　過去三ヵ年の比較

	R 4 / 2022	R 5 / 2023	R 6 / 2024
■ 会員数	69,093	67,331	65,046
■ 指導員	35,884	34,880	33,793
■ 検定員	27,219	26,431	25,771



【北海道】北海道スキー指導者協会 「2024年度 北海道スキー指導者協会 報 告」

会 長 三 浦 光 男

昨年からコロナ感染分類が変わったことにより、コロナ禍前の平常に戻り事業を実施してまいりました。

昨年8月19日理事会、20日代議員会、11月11日定例理事会と対面での会議を実施しました。

今年に入り3月2~3日には「春スキーの集い」を道南会場、登別カルルス温泉サンライバスキー場で、実施致しました。藤島名誉会長によるS A J研修会では受けられない技法の研修で大変盛り上がりました。

6月22日は本協会最大のイベント「集い」を5年越しとなりました函館大会を盛大に実施する事が出来ました。翌日は大沼レイクGCにて親睦ゴルフコンペが行われ、思い出に残る大会となりました。

コロナ禍の規制から明けて1年が経過し、大きく社会情勢、スキー界の情勢が変わったように思われます。伝達はほとんどがデジタル化、対面的な会議やコミュニケーションの場が少なく、かつペーパーレスになってきております。

時間的、経済的には大変良い事と思われますが、反面人間的でなくなってきて

いる様に思われます。極端な言い方をすれば、指導員会・指導者協会の必要性も問われてきます。

本協会の目的を確認すると「スキー指導者相互の情報交換、親睦と資質の向上を図ると共にスキー界の活性化に寄与する」となります。本協会の必要性が不可欠です。

しかしながら、本協会の加盟団体数が10年前は55団体、会員数5,069名。現在36団体3,312名に減少しました。

当然、人数減少で、収入が少なくなり今まで通りの事業規模での開催は難しくなってきました。

本協会を継続するために、また目的達成の為事業を遂行するのにはどの様になければいけないのか?真剣に考える時が来たと思います。

対策委員会を立上げ早急に打合せをする準備にかかったところです。

いずれにしても、今後とも上部団体との連携、会員相互の連携を図りスキー界の発展に努力していきたいと思います。



午後 集合写真



1日目午後終了



函館ゴルフコンペ



理事会



代議員会



講演会「これからスキー界の活性化について」

【岩手県】岩手県スキー指導員会

事務局 石川 明

当県では、会報とスキー連盟が発信する様々な情報を組合せた「いわてシーハイル」という冊子を作製し会員及び県連関係者等に配布しています。

この冊子は、総務本部から教育本部、競技本部等の事業計画や成績等を掲載し、多くのスキー・スノーボードの愛好者に受け入れられ好評を博しています。

印刷経費は県連と折半し、全印刷部数1冊あたり450円を当会が負担しています。

この冊子に掲載する特集記事などはシーズン中に取材するなど、早めに原稿集めを行い全体の編集は10月頃から始まりますが、今年度はさらに内容の充実さと手に取ったときの読みやすさを目指しています。

こうしたなか、当会のここ10年間を振り返ります

と様々な事業がありましたが、時代の変化とともに見直しを進めてきたことにより、会員が参加して行われる事業は減少し、今は補助金交付事業や印刷物発刊事業などの骨格事業だけが残りました。

こうしたこととは、将来的に当会の存在意義が薄れしていくことにつながるのではと危惧されます。

会員が参加して行われる唯一の親睦事業はゴルフコンペだけで、昨年と同じように参加対象を会員限定で開催しましたが、今後多くの参加者数増加を見込めないことは、時代の流れと会員間交流に対する考え方の多様性などから、やむを得ないものと思われます。

今年度は、会場変更などを視野に入れ、より親睦が深まる事業になれば、と期待しているところです。

2024~2025年度の事業予定

時期	事業名	内 容	区分
2024.12	いわてシーハイル刊行	指導員会会員及び教育本部、競技本部関係者、県連後援会等に配布	共同
2025. 2	指導員養成事業	指導員検定受験者へのアドバイザー、事前現地練習会等に要する経費補助	単独
2025. 2. 27 ～3. 9	全日本SKI・SB技術選手権大会補助	SKI・SB岩手県選手団への財政補助事業	共同
2025. 2.22 ～3.2	指導員養成事業	SKI・SB準指導員合格者への記念品提供(S.I.Jワッペン・シール)	単独
2025. 7.未定	会員親睦事業	親睦交流ゴルフコンペ(参加対象:会員のみ)	単独



昨年度指導員会ゴルフコンペ優勝者

一関市スキー協会 菊池義則指導員

当日は、朝からの雨だったため午前中のスコアで競技終了する予定でスタートしましたが、天候の変化や悪コンディションに翻弄されながらも後半まで競技を続けました。

その中で、沈着なプレーでスコアをまとめた菊池義則さんが優勝しました。

「おめでとうございました！」（2024.7.27開催 参加者 23名）

岩手県スキー指導員会役員名簿（令和7年度～8年度）

役 職	氏 名	推 薦 / ブロック	所 属 団 体
会 長	吉田 尚邦		岩手県警クラブ
副 会 長	中野 新一		雫石町
理 事	大黒 義男	県 北 部	一戸町
〃	立花 圭介	県 北 西 部	八幡平市
〃	佐々木 英夫	県 中 部	盛岡市
〃	佐々木 松次	県 中 西 部	矢巾町
〃	越後 晃一	県 中 南 部	花巻市
〃	湯澤 源一郎	県 西 部	北上市
〃	佐藤 悟	県 南 北 部	水沢
〃	阿部 真	県 南 部	一関市
〃	中野 慎也	沿 岸 北 部	岩 泉
〃	小向 健一	沿 岸 南 部	遠野市
〃	戸塚 幸雄	会長 推 薦	遠野市
〃	米澤 美子	会長 推 薦	盛岡市
〃	石川 明	会長 推 薦	盛岡市
〃	阿部 秀平	会長 推 薦	盛岡市
監 事	澤口 次雄		盛岡市
〃	角館 光之		盛岡市

○任期：令和6年8月1日から令和8年7月31日まで（役員改選まで）

○岩手県スキー指導員会事務局所在地（平成21年10月変更）

020-0100 盛岡市大新町3-5

(財) 岩手県スキー連盟 気付 岩手県スキー指導員会事務局

【福島県】福島県スキー連盟指導員会

会長 小川 徳裕

SIJ 会報 (INSTRUCTOR) 第 40 号の発行、誠におめでとうございます。

本年 1 月に発生いたしました能登半島地震、また 8 月に発生いたしました宮崎県日向灘を震源とする地震、そして本年 7 月の豪雨、及び 8 月の台風 5 号による山形県、秋田県、本県で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また各被災地において、復旧、復興、医療支援等にご支援を賜りました皆様に、心より御礼申し上げますとともに、ご尽力に敬意を表します。

私より福島県スキー指導員会の令和 6 年度活動状況、及び令和 7 年度の事業計画について報告いたします。

まず、はじめに令和 7 年度事業計画は以下の通りとなっていきます。

令和 7 年度事業計画

- (1) 代表者代議員会議、役員会、理事会の開催
- (2) 指導員会会報の発行
- (3) 第 31 回 SIJ 親睦ゴルフ大会への参加
開催期日：令和 6 年 10 月 13 日(日)～14 日(月)
会場：那須カントリークラブ
- (4) スキーインストラクターズサロンの雪上開催
開催期日：令和 6 年 12 月 7 日(土)
会場：EN RESORT Grandeco
講師：丸山 貴雄氏（元ナショナルデモンスト레이ター）
- (5) スキー指導員検定会受検者への支援

(6) スノーボード指導員検定会受検者への支援

(7) 全日本スキー技術選手権大会出場選手への支援

(8) 全日本スノーボード技術選手権大会出場選手への支援

(9) SAF 会報「福島のシュプール 第 50 号」の発行支援

(10) スキー功労指導者・名譽検定員 頤彰認定バッヂ代等の支援

(11) イエローフォールツアーオーの開催

開催期日：令和 7 年 2 月 15 日(土)

会場：裏磐梯スキー場

(12) スキー指導員会東北ブロック会議の開催

(13) 日本スキー指導者協会の総会・理事会への出席、及び各行事への参加

次に令和 6 年度の活動報告ですが、特にスキーインストラクターズサロンについて報告いたします。

令和 6 年度は、これまで実施して参りました机上での技術・理論講習ではなく、初めて雪上においての実技講習といたしました。開催期日は令和 5 年 12 月 2 日(土)、会場は裏磐梯の EN RESORT Grandeco、講師には令和 5 年 4 月に EN RESORT Grandeco に赴任された元ナショナルデモンスト레이ターの丸山貴雄さんに委任をし、受講者は、令和 6 年度指導員検定会の受検者を含む 28 名でした。受講者からはわかりやすい講習で大変好評を得ました。

これは今後も継続して実施の予定としております。

また、暖冬傾向で積雪も少なかったことから磐梯山の山嶺に冬期間に出現する氷塊を見学する BC スキーのイエローフォールツアーオーは開催を中止といたしました。



Photo 1 EN RESORT Grandeco にて スキーインストラクターズサロンの参加者

【宮城県】宮城県スキー指導員会報告

会長 柴崎 義信

今年の夏は、まれにみる猛暑となり連日真夏日が続いていますが、宮城も例外ではありませんでした。本来、宮城の夏は「やませ」の影響もあり比較的涼しい夏ですが、今年は熱中症対策で皆さん大変な思いをされたのではないでしょうか。

5月にコロナ感染症の位置付けが5類相当になりました。様々な活動への制約がなくなりました。指導員会も令和2年度の総会以来4年ぶりに対面での総会を実施しました。本来であれば、その後に懇談会を開催し、より多くの皆様との交流の場を持つ計画でしたが、残念ながら水面下ではコロナ感染者が上昇傾向にあり、リスクがまだ残っていることから今回は見送ることにしました。

次年度は是非実施し広く情報交換をできることを期待しています。

令和5年度の宮城県スキー指導員会の事業としては、ほぼ例年通りの計画でありましたが会議や懇談会以外については無事に終了することができました。その結果について、指導員会の幹事の皆さんから意見を聞き令和6年度の事業として具体化を図ることとしました。

特に、指導員検定会場での受験者サポート的目的として教育本部が派遣していたスキー技術員に

対する助成を行ってまいりましたが、派遣そのものを指導員会の直接事業とし、より手厚くすることを今回の総会で決めさせていただきました。

受験会場で、養成講習などの指導に携わった技術員がそばに寄り添い、アドバイスができるることは、受験者本人にとって心強く日頃の成果を發揮できることにつながります。昨年度の合格率はその成果もあったものと思っています。

また、今年は指導員会役員の改選時期でもありました。

幹事の若干の入れ替えはありましたが、これまでと同じ構成で次も務めさせていただくこととなりました。改めて、懸案としていました指導員会のあり方や行事等の見直しなど、コロナ禍の4年間になかなか出来なかったことに着手する時期ではないかと考えているところです。各都道府県の皆様からも貴重な意見などお聞かせいただければ幸いです。

長期予報によると11月には東北は平年気温に戻ること、またいつものように雪が降り、雪上で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

令和7年 事業計画

- 東北ブロック技術員研修会への支援 ○仙北・仙塩・仙南地区連絡協議会への講習会支援
- 宮城県スキー指導者研修会の講演協賛 ○正指導員受検への支援 ○正指導員検定会派遣事業
- 県連ゴルフ大会協賛 ○日指ゴルフ大会支援 ○東北マスターズ大会支援(基礎) ○近県指導員会との交流支援

役員および事務局（令和6年度～令和7年度）

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
顧問	青沼 幸男	顧問	山口 昭一	顧問	半沢 進	顧問	高田 潤一
会長	柴崎 義信	副会長	保原 政美	副会長	山田 益広	幹事長	武田 善晴
特別幹事	安倍 茂	幹事	熊坂 英登	幹事	高橋 浩	幹事	渡邊 正一
幹事	大宮 敏夫	幹事	金 洋太	幹事	相沢 潔美	幹事	関本 博之
幹事	石川 和記	幹事	斑目 和彦	幹事	新山 秀夫	幹事	阿部 勉
幹事	千葉 秀幸	幹事	小鳴 志朗	幹事	遠藤 金生		
監事	北田 黙	監事	高橋 秀雄	監事	片倉 敏明		
事務局	山内 光一	事務局	加藤 豊彦	事務局	星川 郁子		



指導員会総会の一場面



交流会の一場面

【埼玉県】埼玉県スキー指導員会 スノースポーツの隆盛を求めて

～その方策を探る～…私たち指導者のできることは何か、

このS I J会報36号、37号、38号と三号にわたってコロナ禍に対して冷静に向き合うことから何ができるかの模索、そして何かしらの行動を起こすことの必要性について触れ、コロナ禍とその後における私たち指導者のなすべきことは何かについて私見を述べてきました。続く39号では「超回復（＝スーパー・リカバリー）」を基調とし、日常のすべてを「止める」ことから、冷静に「いかに止めないか」を経て今の「日常の回復」にたどり着きました。

さて、コロナ対応についてはまだ感染症対策は必要ですが、イベント等についてすでに昨年度通りからほぼ「通常開催」「通常対応」となってきたところです。コロナ禍が過ぎ去った今、なお、衰退しつつあるスノースポーツ…。表題に「スノースポーツの隆盛を求めて」としたのは、スキー場の閉鎖や愛好者の減少など、スキーを始めとするスノースポーツが衰退する現実はどうから来ているのか、そして私たちは何をすればよいのか、について考えてみようと思いました。

そこで、オープンAIの「ChatGPT」を使って質問を投げかけてみました。

まずは、スキーカー人口減少の原因。これについては、細かな解説は省きますが、項目としては、①少子化と高齢化、②経済的負担の増大、③レジャーの多様化、④気候変動、と答えてくれました。

※ちなみに、「日本スキー指導者協会ができる」と尋ね

埼玉県スキー連盟 教育本部

アドバイザー（日指担当） 船戸 均
(日本スキー指導者協会 理事)

てみたところ、日本スキー指導者協会をSIAと規定したので、ChatGPTの限界（ベースのデータが偏り限定的な学習範囲であること、誤りを修正できない構造、など）を感じます。内容は鵜呑みにできませんが、課題を整理するうえでの判断材料としては使えそうです。

次に、ChatGPTの答えを参考に少し掘り下げ、方策について整理してみました。

- a)初心者向けプログラムの充実
 - b)地域との連携（地域密着型のイベント開催など）
 - c)若年層へのアプローチ、高齢者（特に経験者）へのアプローチ
 - d)マーケティングとプロモーション活動（SNS、YouTubeなどの戦略的活用）
 - e)IT化（VRシミュレーターの活用など）
 - f)インバウンドへの対応
- などが挙げられます。特に、d)とe)については新しいアプローチであると感じるところです。

SAJも「普及」に力を入れるとしています。みなさんもそれぞれの立ち位置や場面で、これまで取り組んでいることがあると思います。それぞれのグッドアイデアを参考に、ぜひ、課題や成功例を基に意見を交え共有できたらと考えます。自然を楽しむことやスキーの楽しさを広め、スノースポーツの価値を高めましょう。



行事報告(埼玉県)

行事名	チャレンジ戸隠(1・2・3級講習／バッジテスト)
開催期日	令和6年1月6日(土)～8日(月・祝)
開催会場	戸隠スキー場(長野県)
参加人数	27名 1級受検11名(うち合格6名)、2級受検2名(うち合格2名)、エキスパート8名、シニア6名
参加状況	毎年楽しみにしているというリピーターが多かった。また、今回は、受検者のレベルが高く、講習自体も充実したものとなり、結果、高い合格率となった。
備考	感染症の対策を講じながらではあったが、ほぼ通常開催の形をとった。雪不足によりスキー場全体で滑れる箇所が少なく、また、ゲレンデコンディションが悪く講習バーンが限られ、検定バーンの確保に苦慮した。 3級レベルの受講枠も設置したが、参加者がなかった。リピーターを大切にしながら、新規参加者の拡大に努めたい。 集客についての方策を練る必要がある。

【千葉県】千葉県スキー指導員会

会長 小笠原 彦郎

千葉県スキー指導員会 令和7年 行事計画

1	第7回 SIC秋季親睦ゴルフ大会
	1. 主催 千葉県スキー指導員会
	2. 会場 新千葉カントリー俱楽部 TEL:0476-52-4341
	3. 日時 令和6年11月30日(土) 募集人員／8組(32名)
	4. プレイ費 11,500円(昼食付、税込み) ※各自フロント払
2	5. 参加費 3,000円(パーティ会場集金)
	第20回 ステップアップ講習会
	1. 会期 令和7年2月1日(土)～2月2日(日)
	2. 会場 シャトレーゼスキーバレー小海
	3. 宿泊 シャトレーゼガトーキングダム小海(旧小海リエックスホテル) 〒384-1103長野県南佐久郡小海町松原湖高原11 TEL 0267-93-2211
	4. 講師 松田富士夫(元SAJナショナルチーム) 他数名
3	5. 対象 SAJ指導員、準指導員、1級、2級、生涯スキーリーダー
	6. 申込先・問合せ先 千葉県スキー指導員会 大森 晴夫 090-3086-0124
	第10回 シニアスキーの集い in 千葉
4	1. 会期 令和7年2月4日(火)～5日(水)
	2. 会場 群馬県かたしな高原スキー場
	3. 宿舎 片品高原ホテル 〒378-0413 群馬県利根郡片品村越本2990 TEL 0276-58-2161
4	千葉県スキー連盟からの委託事業
	生涯スキーリーダー・認定スキー指導員研修会(実技)の一部 ※研修会理論を受講して下さい。
	本研修会は「第10回シニアスキーの集い in 千葉」(指導員会主催)と同時開催
	1. 主管 千葉県スキー指導員会
	2. 会期 令和7年2月4日(火)～5日(水)
	3. 会場 かたしな高原スキー場
5.	4. 曜日 2月4日(火) 10:30～12:30 開会式/講習 2月5日(水) 9:00～11:00 講習 13:30～15:30 講習 12:00～14:00 講習 15:00 閉会式
	5. 申込先・問合せ先 千葉県スキー指導員会まで

【東京都】特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会

会長 和田 守義

今年の夏も例年同様猛暑が続き、熱中症で救急搬送される事例が多発、またゲリラ豪雨や線状降水帯の発生などで土砂災害など各地に被害をもたらし、もはや異常気象が異常ではなくなってしまったような感覚に、これまで良いのかと漠然とした不安を覚えます。

ところで、最近の物価高は、電気ガスなど公共料金の値上げにはじまり、急激な円安による輸入物価の高騰、インフレ誘導による人件費の高騰などなど各種価格に影響を与えていています。スキーに関連する費用についても、例外ではありません。

例えば、リフト料金、宿泊代、スキー用具の値上げなどで、スキー場にとってかなりの負担増になってきています。また同時に各種行事を計画するクラブや団体も、諸々の運営経費増により参加費の値上げなどの対応を迫られています。

そんな状況であるからこそ、各種行事を主催する我々団体は、実施する研修会や大会の内容を、一層充実したものにして、参加いただいた方々に満足していただき、十分に楽しんでいただけるよう、仲間と誘い合わせて又参加しようと思っていただけの工夫し努力していくかなければならない、という思いで気を引き締めています。

2024-2025年 行事要項

No	行 事 名	日 程	会 場	備 考
1	サマースキー	2024.8.31~9.1	丸沼高原 スキー場	夏でも涼しい丸沼高原サマーゲレンデで スキー感覚を維持できるように工夫
2	親睦ゴルフ大会	2024.9.25	都ゴルフクラブ	オフシーズンもゴルフ等を通じて親睦を深め コミュニケーションを図る
3	秋の親睦会（山歩と茸採り）	2024.11 予定	木島平	山歩きで足腰のトレーニングにプラスして キノコ採りも楽しむ
4	スキー講座 検定合格のための理論講習会	2024.12 予定	なかのZERO 学習室	今シーズンのスキー教程変更に伴う最新の 理論を体系的に理解する
5	北海道のデモと一緒に初滑り	2024.12.12~15	北海道 札幌国際	北海道のデモと平日の札幌国際スキー場で パウダースノーを満喫。
6	プライズテスト合格のための 特別研究会	2025.1.11~13	菅平高原	プライズテスト合格のため、スキー技術を より正確で、確実なものに
7	準指検定の特別研究会Ⅰ	2025.1.18~19	菅平高原	準指検定受検にあたり1月の時点では種目に 囚われず基本的な動作を確実なものに
8	プライズ・テスト	2025.1.25~26	菅平高原	近年、ジュニア層の技術レベル向上が 目覚ましく、シニアも負けないように
9	コブ斜面克服特別研究会	2025.1.25~26	菅平高原	新検定では不整地を含むナチュラルバーンと なりましたが、コブ斜面攻略は必須
10	指導員検定の特別研究会	2024.2.1~2	鹿沢 スノーエリア	今年度第3会場は鹿沢スノーエリアです ゲレンデ状況や雪質などの特徴を把握
11	準指検定の特別研究会Ⅱ	2025.2.22~24	菅平高原	コーチによる種目表現の微調整 不得意種目の徹底克服
12	準指検定の特別研究会Ⅲ	2025.3.1~2	菅平高原	検定直前の講習会で種目に求められる要素を 正確に理解して自信をもって検定に臨む
13	準指導員検定会支援	2025.3.8~9	菅平高原	準指検定受検者が、普段通りの滑りができる ようメンタル面で応援します
14	春の親睦会（山菜採り）	2025 予定	木島平	早春の野山を巡り、地元料理と地酒と温泉ありで、スキー談義に花を咲かせましょう

特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会ホームページ <http://www.ski-instructors-tokyo.jp/>

NPO法人東京都スキー指導者協会



INSTRUCTOR

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

神奈川県スキー指導員会
幹事長 佐藤 精一

当指導員会は会員相互の親睦とスキーの普及のため活動しています。2024年度は、新型コロナウイルス感染症が5類移行し、種々の規制が緩和されましたがウイルス感染に注意を払いながら事業を実施しました。

2024年度は、企画した「荒井拓磨スキーキャンプ」、「第105回親睦ゴルフ（秋季）・第106回親睦ゴルフ（春季）」、「小海エンジョイスキー」、「第40回指導員会フェスティバル」は無事に開催することが出来ました。一方、「第43回オール神奈川スキーヤーズ大会」、「オグナほたか行事」は雪不足等により中止とさせていただきました。7月20日に2024年度の総括として総会を行いました。総会後は、5年ぶりに懇親会を実施して懐かしい方との話題

に花を咲かせました。

指導員バンクにつきましては、協賛スクール6校から派遣要請を頂き多数の会員（25名、延べ203日就業）が講師として活躍されました。

今年度も各行事の詳細案内や新しい仲間の紹介などを掲載した会報「指導員会だより12号」を作成し、会員の皆さんへ発送する予定です。

以下は、2024-2025年度の行事概要です。今年度の行事は第107回 親睦ゴルフコンペ（秋）に始まり、第108回親睦ゴルフコンペ（春）で終了します。

今シーズンも、多数の方の参加をお待ちしております。

神奈川県スキー指導員会 2024-2025行事予定

No	行 事	期 日
1	第107回親睦ゴルフコンペ(秋季大会)	2024/10/17
2	お正月荒井拓磨講師によるレベルアップスキーキャンプ	2025/1/4-5
3	第44回オール神奈川スキーヤーズ大会	2025/2/8-9
4	シャトレーゼスキーバレー小海エンジョイスキー＆バッジテストヘリテージ	2025/2/13-15
5	第41回神奈川県指導員会フェスティバル	2025/3/22-23
6	第108回親睦ゴルフコンペ(春季大会)	2025/5/15
①	2025 S I J 懇親スキーフェスティバル行事	未定

今年度も温暖化による雪不足等が気になるところですが、雪上で皆さんと再会し、スノースポーツをエンジョイしたいと思います。

詳細は神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <https://sik.arts-k.com>をご覧ください。



荒井拓磨講師
スキーキャンプ 津南



小海リエックスエンジョイスキー



第105回神奈川県スキー指導員会
親睦ゴルフコンペ秋季大会



指導員会フェスティバル 車山



日本スキー指導者協会

2024年度事業報告

	開催年月日	事業内容	備考
1	2023年6月～ 隨時 2024年4月25日(木) 6名	2024年度(拡大)事務局会議新橋駅前ビル	1号館 603号
2	2023年7月31日(月) (書面表決締切日)	2024年度 総会 書面表決 第1号議案 2023年度事業報告 第2号議案 2023年度決算報告・監査報告 第3号議案 2024年度事業計画(案) 第4号議案 2024年度予算(案) 第5号議案 役員選任(案)	各議案とも賛成20名で承認された 承認後(案)削除 承認後(案)削除 承認後(案)削除
3	2023年10月1日(金)	会報第39号の発行	16頁10,000部発行
4	2023年10月8日(日)～9(月休) 参加総数33名	第30回SIJ親睦ゴルフ大会 宮城県2、福島2、 埼玉県11、東京都12、神奈川県 6	那須カントリークラブ
5	2024年1月5日(金)～8日(月) 参加総数 0名	第23回みんなで行こうSAJスキー大学 参加者 なし	朝里川温泉スキー場
6	2024年3月下旬か4月上旬 中止	2024SIJ懇親スキーフェスティバル(未定) 中止	スキー場(未定)

注)SAJ報告 省略

2024年度 決算報告 (2023/6/1～2024/5/31)

1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
年会費	532,000	532,000	0	
会議費	0	0	0	
事業費	816,000	161,200	▲654,800	
(内訳)				
	20,000	4,000	-16,000	会報第39号広告料
	296,000	157,200	-138,800	第30回SIJ親睦ゴルフ大会
	20,000	0	-20,000	第23回SAJスキー大学企画料(中止)
	480,000	0	-480,000	2024SIJ懇親スキーフェスティバル(未定) 中止
雑収入	2	4	2	銀行利息
当期収入合計 A	1,348,002	693,204	▲654,798	
前期繰越収支差額	646,952	646,952	0	
収入合計 B	1,994,954	1,340,156	▲654,798	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	0	0	0	
	20,000	4,840	▲15160	2024年度第1回事務局会議 2024/4/25
事業費	1,106,084	612,564	▲493,520	
(内訳)				
	465,000	525,980	60,980	会報39号発行 10,000部
	161,000	86,584	-74,416	第30回親睦ゴルフ大会
	84	0	0	第23回みんなで行こうSAJスキー大学 中止
	480,000	0	0	2024SIJ懇親スキーフェスティバル(未定) 中止
管理費	127,520	68,996	▲58,524	
通信費	25,000	17,072	-7,924	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	10,000	1,924	-8,076	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	10,000	10,000	0	事務所借用料
涉外費	30,000	0	-30,000	涉外費、慶弔費(弔電、生花)
木-ム^°-ジ^°費	40,000	40,000	0	木-ム^°-ジ^°維持費
雜支出	12,520	0	-12,520	雜支出
当期支出合計 C	1,253,604	686,400	▲567,204	
収支差額 A - C	94,398	6,804	▲87,594	
次期繰越金 B - C	741,350	653,756	▲87,594	

INSTRUCTOR No.40

第30回SIJ親睦ゴルフ大会 実施報告書

1. 前夜祭(少數のため中止)

2023年10月8日(日) 曇り 宿舎クラブ 内ホテル 食事なし 21時までにチェックイン10名宿泊

2. ゴルフ大会 那須カントリークラブ 栃木県那須郡那須町寺子乙677-28 0287-62-0840

2023年10月9日(月休) 雨 現地受付 6時30分より

①開会式 7時50分 挨拶 理事 小川 徳裕、競技説明 事務局長 藤木 昇

②スタート 8時00分 アウト5組/イン4組同時スタート コース内カート乗入れ不可

③表彰式 14時10分

1. 会長挨拶 副会長 高橋 哲男

2. 成績表配布、賞品授与 各自順位順にテーブルより取り順次解散 終了14時50分

前泊参加者 10名、コンペ参加者数 32名、新ペリア方式採用 プレイなし含めた総参加33名

参加県 宮城県2、福島県2、埼玉県11、東京都12、神奈川県6

成績(敬称略)

個人戦 男子の部				個人戦 女子の部				
順位	グローブ	ハンド	ネット	氏名	県名	グローブ	ハンド	ネット
1位 東 辰雄	81	9.6	71.4	渡辺 裕美	埼玉	87	14.4	72.6
2位 中澤 信行	82	9.9	72.4	廣瀬道代	埼玉	111	37.2	73.8
3位 中村 仁	103	9.3	73.0	川田 光代	神奈川	89	14.4	74.6

団体戦(上位4名)		
順位	県名	ネット計
1位	埼玉県	291.0
2位	千葉県	293.4
3位	東京都	298.8

各賞

ベストグローブ賞			
部	氏名	県名	グローブ
男子	高橋 哲男	埼玉	78
女子	田中 恵美	埼玉	87

アトラクション賞				
トロコン	アウト3	高橋 哲男	イン12	中澤 信行
ニアヒン	アウト5	高橋 哲男	イン11	谷口みのる
ニアヒン	アウト7	渡辺 裕美	イン15	齋藤 駿三

協賛(敬称略)(順不同)

那須カントリークラブ、ボーヤ株式会社

日本スキー指導者協会 会長 坂本祐之輔、副会長 高橋 哲男 参与 長澤 光雄

宮城県スキー指導員会 会長 柴崎 義信、福島県スキー指導員会 会長 小川 徳裕、千葉県スキー指導員会 会長 小笠原彦郎、

東京都スキー指導者協会 会長 和田 守義、副会長 中澤 義昭、神奈川県スキー指導員会 会長 酒井 祐一郎

- ・新型コロナ感染症が5類になり、開催の運びとなった。前夜祭は各県の数が集まらず中止とした。遠地からの人たちが1泊したが、各自夕食を用意し明日に備えた。
- ・9日は予想通りのしっかりとした冷雨。高齢者も多いことから冷え込みによる体調悪化も考え、各県の会長、副会長が協議しハーフで終わろうということになった。参加者は、宮城、福島、埼玉、東京、神奈川5県33名と少なかった。
- ・7時50分キャディマスター室前で開会式を実施し冷雨の影響でハーフで切り上げることを報告した。
- ・8時00分アウト、イン同時スタートで、9組32名の選手が冷雨の中へ出て行った。
- ・ハーフ終了後、昼食となりそのまま表彰式へと続いた。高橋副会長の挨拶の後、1位から順に表彰し賞品を順次読みあげ12時30分解散となった。なお冷雨の中、3組程後半も続ける人がいた。
- ・賞品はスキー用品だけでなく、農産物などの協賛支援を賜り全員に授与する事が出来た。協賛各位にお礼を申し上げます。
- ・皆さん雨の中お疲れ様でした。
- ・来年はもっと多くの人が参加できるよう日程も考慮していきたい。

第30回SIJ親睦ゴルフ大会写真集



雨の中スタート前の記念撮影?



雨の中 スタートホール第1打



雨の中 スタートホール第1打



閉会式
高橋副会長 挨拶

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

2025年度 第1回理事会議事録

(公財)全日本スキー連盟
日本スキー指導者協会

日 時 令和6年6月29日(土) 11:00~11:45

場 所 スクワール麹町3F「華」TEL 03-3234-8739

〒102-0083東京都千代田区麹町6-6

出席者(名簿順敬称略)

名誉役員 長澤 光雄

会長 坂本祐之輔

副会長 藤島 勝雄

SAJ来賓 白石 博基

理事 水島三千夫 新井 臣一 三浦 光男

柴崎 義信 小川 徳裕 小笠原彦郎

和田 守義 藤木 昇(事務局長)

代表委員 伊東 恵一 白倉 弘高 庄司 高士

芳賀 寛 西塚 彰

委任 吉田 勇夫 高橋 哲男 鈴木 勘重

船戸 均 大山 重彦 下河邊元春

卷坂 伸治

顧問弁護士 菅原 哲朗

事務局 関根 紀光 川田 光代 滝沢 誠

西園 勉

次第

1. 開会の辞: 新井臣一副理事長
2. 会長挨拶: 坂本祐之輔会長
3. 議長選出: 坂本祐之輔会長
4. 書記任命: 関根紀光事務局次長
5. 議事録署名人選出: 三浦光男理事、小川徳裕理事
6. 議事運営の確認: 特になし
7. 報告事項

7. 1 2024年度事業報告(藤木昇事務局長)
・資料のとおり報告

7. 3 2024年度決算報告(藤木昇事務局長)
・資料のとおり報告

7. 4 2024年度監査報告(藤木昇事務局長)

◎議事7につき質疑なし、原案のとおり承認

8. 提案事項

8. 1 2025年度事業計画(案)(藤木昇事務局長)
・資料のとおり説明

8. 2 2025年度予算(案)(藤木昇事務局長)
・資料のとおり説明
・質疑 支出の合計について(和田理事)

◎議事8について原案のとおり承認

9. 書記解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞: 新井臣一副理事長

以上の議事録を証するため下記に署名する。

令和 年 月 日

議長 坂本祐之輔

議事録署名人 三浦 光男

議事録署名人 小川 徳裕

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

2025年度 総会議事録

(公財)全日本スキー連盟

日本スキー指導者協会

日 時 令和6年6月29日(土) 11:50~12:30

場所 スクワール麹町3F「華」TEL 03-3234-8739

〒102-0083東京都千代田区麹町6-6

出席者(名簿順敬称略)

名誉役員 長澤 光雄

会長 坂本祐之輔

副会長 藤島 勝雄

SAJ来賓 白石 博基

理事 水島三千夫 新井 臣一 三浦 光男

柴崎 義信 小川 徳裕 小笠原彦郎

和田 守義 藤木 昇(事務局長)

代表委員 伊東 恵一 白倉 弘高 庄司 高士

芳賀 寛 西塚 彰

委任 吉田 勇夫 高橋 哲男 鈴木 勘重

船戸 均 大山 重彦 下河邊元春

卷坂 伸治 酒井 祐一郎

顧問弁護士 菅原 哲朗

事務局 関根 紀光 川田 光代 滝沢 誠

西園 勉

次第

1. 開会の辞: 藤島勝雄副会長
2. 会長挨拶: 坂本祐之輔会長
3. 議長選出: 坂本祐之輔会長
4. 書記任命: 関根紀光事務局次長
5. 議事録署名人選出: 伊東恵一代表委員、
西塚彰代表委員
6. 議事運営の確認: 特になし
7. 報告事項

7. 1 2024年度事業報告(藤木昇事務局長)

・資料のとおり報告

7. 2 SAJ報告

・資料のとおり報告 SAJ来賓 白石 博基

7. 3 2024年度決算報告(藤木昇事務局長)

・資料のとおり報告

7. 4 2024年度監査報告(藤木昇事務局長)

◎議事

7につき質疑なし、原案のとおり承認

8. 提案事項

8. 1 2025年度事業計画(案)(藤木昇事務局長)

・資料のとおり説明

8. 2 2025年度予算(案)(藤木昇事務局長)

・資料を修正して説明

・質疑 スキー大学について(三浦理事)

支出の会議費について(柴崎理事)

◎議事8について予算案を修正して承認

顧問弁護士挨拶: 菅原哲朗顧問弁護士

9. 書記解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞: 川田光代事務局次長

以上の議事録を証するため下記に署名する。

令和 年 月 日

議長 坂本祐之輔

議事録署名人 伊東 恵一

議事録署名人 西塚 彰

日本スキー指導者協会

2025年度 事業計画

	開催年月日	事業内容	備考
1	2024年6月～ 隨時	2025年度(拡大)事務局会議	
2	2024年6月29日(土)	2025年第1回理事会並びに総会 第1号議案 2024年度事業報告 第2号議案 2024年度決算報告・監査報告 第3号議案 2025年度事業計画(案) 第4号議案 2025年度予算(案)	スクワール麹町
3	2024年10月1日(火)	会報40号発行	20頁 発行部数 9,000部
4	2024年10月13日(日)～14日(月休)	第31回SIJ親睦ゴルフ大会 募集 50名 12組	那須カントリークラブ
5	2025年1月10日(金)～13日(月) シクミネットから申込要	第24回みんなで行こうSAJスキーユニバースティック 行事案内	ルスツリゾートスキーフィールド 募集止め
6	2025年3月29日(土)～30日(日)	2025SIJ懇親会フェスティバル 募集 30名 現地集合・解散	ニューグリーンアツナ 予定

2025年度 事業予算

自2024/6/1～至2025/5/31

1. 収入の部

単位：円

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
年会費	532,000	532,000	0	
会議費	240,000	0	240,000	2025年度総会
事業費	796,000	816,000	▲20,000	
(内訳)				
	20,000	20,000	0	会報40号作成 広告料 9,000部
	296,000	296,000	0	第31回親睦ゴルフ大会 50名
	20,000	20,000	▲20,000	第24回みんなで行こうSAJスキーユニバースティック 募集止め
	480,000	480,000	0	2025SIJ懇親会フェスティバル(ニューグリーンアツナ) 30名
雑収入	4	2	2	銀行利息
当期収入合計 A	1,568,004	1,348,002	220,002	
前期繰越収支差額	653,756	646,952	6,804	
収入合計 B	2,221,760	1,994,954	226,806	

2. 支出の部

科目	予算額	前年予算額	増減	摘要
会議費	320,000	20,000	300,000	
(内訳)				
	300,000	0	300,000	2025年度総会 30X8,000+60,000
	20,000	20,000	0	拡大事務局会議
事業費	1,106,000	1,106,084	▲84	
(内訳)				
	465,000	465,000	0	会報40号 20頁 1万部
	161,000	161,000	0	第31回親睦ゴルフ大会 那須カントリー 50名
	0	84	▲84	第24回ルスツリゾートスキーフィールド 募集止め
	480,000	480,000	0	ニューグリーンアツナ 30名
管理費	117,520	127,520	▲10,000	
(内訳)通信費	20,000	25,000	▲5,000	切手、葉書
事務費	5,000	10,000	▲5,000	印刷、コピー
事務所借用料	10,000	10,000	0	
涉外費	30,000	30,000	0	涉外、慶弔費、旅費補助
ホームジニアジメント費	40,000	40,000	0	ホームジニアジメント維持費
雜支出	12,520	12,520	0	雜費
当期支出合計 C	1,543,520	1,253,604	289,916	
収支差額 A - C	24,484	94,398	▲69,914	
次期繰越金 B - C	678,240	741,350	▲63,110	
支出合計 D	2,221,760	1,994,954	226,806	

(公財) 全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会規約

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この会は、(公財) 全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会
(英文名 SKI INSTRUCTOR OF JAPAN、略称S. I. J.) という。

(事務所)

第 2 条 この会の事務所は関東地区に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この会は、スキー指導者相互の情報交換をはかることにより、スキー界の活性化に寄与し、あわせてスキー指導者の資質の向上と社会的貢献をはかることを目的とする。

(事業)

第 4 条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) スキー指導者相互の情報交換と連携
- (2) (公財) 全日本スキー連盟 (略称 S. A. J.) への協力
- (3) 機関紙の発刊
- (4) その他、この会の目的達成に必要な事業

第 3 章 会 員

(会員)

第 5 条 この会の会員は、S. A. J. 加盟団体及びスキー指導者により構成する各都道府県の団体を会員とする。ただし、団体が会員でない場合は個人を会員とすることができます。

(贊助会員)

第 6 条 この会の目的に賛同し、その事業に協力する個人または団体を贊助会員とすることができます。

(会員の義務)

第 7 条 会員は、この会の行う事業に積極的に協力し、または行事に参加するものとする。

2. 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。

(退会)

第 8 条 会員が退会するときは、その理由を付し、退会届を会長に提出しなければならない。

第 4 章 役 員

(役員)

第 9 条 この会に、次の役員をおく。

- (1) 理事 10名以上20名以内 (2) 特別理事 若干名 (3) 監事 2名
2. 理事のうち1人を会長、若干名を副会長、1人を理事長、若干名を副理事長とする。

(役員の選任)

第 10 条 前条の役員は、総会で選任する。

2. 会長及び副会長の選出は、別に定める。
3. 理事は、ブロック及び会長より推挙する。
4. 特別理事は、理事会で推挙する。
5. 理事長及び副理事長は、理事の中から理事会の互選により選出する。

(役員の職務)

第 11 条 会長はこの会を代表し、この会の業務を総理する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある場合及び必要に応じ職務を代行する。
3. 理事長は会長及び副会長を補佐し、この会の業務を掌理する。
4. 理事は日常の業務を執行する。

(監事の職務)

第 12 条 監事は会議に出席し、意見を述べることができる。ただし議決に加わることはできない。

2. 監事は次の各号に定める業務を行なう。
 - (1) 財産の状況及び整理の監査
 - (2) 業務執行状況の監査
3. 監査の結果、必要があると認めたときは、総会を招集することができる。

(役員の任期)

第 13 条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2. 役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を遂行する。
3. 补充または増員により選出された役員の任期は、現任者の残存期間とする。

(役員の解任)

第 14 条 役員が次の各号に該当したときは総会の議決を経て解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務執行に耐えられないと認められたとき。
- (2) 職務上の義務違反及び役員にふさわしくない行為があったと認められたとき。

(役員の報酬)

第 15 条 役員は原則として無報酬とする。

1. ただし、その職務のため必要な費用について支給することができる。

(名誉役員)

第 16 条 この会に名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、参与、会友をおくことができる。

2. 名誉会長は、この会の会長であった者を総会にはかり会長が委嘱する。
3. 名誉顧問は、この会の名誉会長であった者及び同等の功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
4. 特別顧問は、必要に応じ総会にはかり会長が委嘱する。
5. 顧問及び参与は、この会の発展に特に功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
6. 特別顧問及び顧問は特定事項について会長の諮問に応ずる。
7. 参与は特定事項について理事会の諮問に応ずる。

(事務局)

第 17 条 この会の事務処理を行うために事務局をおく。

2. 事務局の構成は次のとおりとする。
 - 局長 1名 次長 2名以内 局員 若干名
 3. 局長は会長が任命し、理事とする。
 4. 次長及び局員は会長が任命する。
 5. 局員は有給とができる。ただし、その報酬は理事会の議決を得て会長が定める。

第 5 章 会 計

(会計年度)

第 18 条 この会の会計年度は毎年6月1日より5月31日までとする。

INSTRUCTOR No.40

(経 費)

第 19 条 この会の運営に要する費用は次の各号をもってあてる。

(1) 年会費 (2) 事業収入 (3) 協賛金 (4) 補助金 (5) その他の収入

(年会費)

第 20 条 年会費は、原則として都道府県会員の規模割りによるが、実情によりブロック単位に算定し納入することができる。なお、その算定方法は個人会員と合わせ別に定める。

第 6 章 会 議

(会議の種類)

第 21 条 この会の会議は総会、理事会、その他各種委員会とする。

(総 会)

第 22 条 総会はこの会の最高の議決機関とする。

(総会の構成)

第 23 条 総会は、各都道府県から選出された代表委員及び役員で構成する。

2. 名誉役員に出席を要請し、意見を求めることができる。

(総会の招集)

第 24 条 総会は毎年1回以上、会長が招集する。

ただし、代表委員の2分の1以上から会議の目的事項を示し、総会開催の請求があったときは60日以内に総会を招集しなければならない。

(総会の議決)

第 25 条 総会の議決は、特別に定めた事項を除き、出席理事及び代表委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決するところによる。

(総会の議長)

第 26 条 総会の議長は会長もしくは会長の指名する者とする。

(総会の審議事項)

第 27 条 総会は次の事項を審議、決議する。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| (1) 事業計画及び収支予算に関する事項 | (5) 会員の加盟の承認及び除名 |
| (2) 事業報告及び収支決算報告に関する事項 | (6) 会員からの提出議案 |
| (3) 役員の選出、承認及び解任 | (7) 役員及び会員の表彰 |
| (4) 規約、規程の改廃 | (8) その他、必要と認める事項 |

(理事会)

第 28 条 理事会は会長、副会長、理事、特別理事、監事をもって構成し、会長が必要に応じ招集する。

2. 理事会の議長は会長もしくは会長の指名する者とする。

3. 会長は必要に応じ、名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる。

(理事会の業務)

第 29 条 理事会は次の業務を処理する。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (1) 事業計画及び予算の立案ならびに執行 | (5) 会員拡大に関する事項 |
| (2) 事業報告及び決算の処理 | (6) 会員からの提出議案の処理 |
| (3) 役員等の選考に関する事項 | (7) 役員及び会員の表彰者の推薦 |
| (4) 規約、規程の立案 | (8) その他、必要事項 |

(各種委員会)

第 30 条 この会に事業遂行上必要と認める場合、各種委員会をおくことができる。

2. 各種委員会の設置及び構成する委員の選出は理事会の議決による。

3. 委員は会長が委嘱する。

(議事録)

第 31 条 総会及び理事会の議事については次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 開会の日時及び場所 (3) 議決事項

(2) 会議に出席した構成員の氏名 (4) 議事の経過の要旨及び発言者の発言要旨

2. 議事録には、議長及びあらかじめ選出された議事録署名人が署名しなければならない。

3. 議事録は作成後すみやかに会議構成員に開示することとする。

第 7 章 付 則

(細 則)

第 32 条 この規約の施行上必要な事項は、別に細則に定めることができる。

(規約の改廃)

第 33 条 この規約の改廃は、総会において出席理事及び代表委員の過半数の同意によらなければならない。

(規約の施行と改正)

第 34 条 この規約は昭和58年10月30日より施行する。

昭和61年12月 3日改正	昭和62年8月23日改正	昭和63年8月27日改正
平成 6年 7月17日改正	平成 7年7月12日改正	平成 9年7月12日改正
平成10年 7月19日改正	平成11年7月18日改正	平成13年8月 5日改正
平成15年 8月 2日改正	平成16年7月31日改正	平成21年7月26日改正
平成22年 8月 8日改正 (全面)	平成25年6月29日改正 (全面)	平成27年6月27日改正
令和 1年 6月23日改正		

役員・代表委員名簿

(任 期 : 2023/7 ~ 2025/6)

名 誉 役 員

役職	氏名	所 属
特別顧問	丸山 庄司	長野県
顧 問	半沢 進	宮城県
顧 問	福岡 孝純	東京都
顧 問	杉崎 壽	東京都
顧 問	大澤 佑吉	神奈川県
顧 問	水島 秀夫	神奈川県
参 与	長澤 光雄	千葉県

顧問弁護士	菅原 哲朗	キーストン法律
-------	-------	---------

代 表 委 員

代表委員	伊藤 恵一	北海道
代表委員	推挙なし	岩手県
代表委員	推挙なし	宮城県
代表委員	推挙なし	山形県
代表委員	推挙なし	福島県
代表委員	臼倉 弘高	埼玉県
代表委員	庄司 高士	千葉県
代表委員	芳賀 寛	東京都
代表委員	西塚 彰	東京都
代表委員	酒井祐一郎	神奈川県
代表委員	推挙なし	石川県

役 員

役職	氏名	所 属
会 長	坂本祐之輔	
副会長	藤島 勝雄	北海道
副会長	吉田 勇夫	岩手県
副会長	高橋 哲男	埼玉県
特別理事	欠員	S A J 理事
理 事	水島三千夫	神奈川県
理 事	新井 臣一	埼玉県
理 事	三浦 光男	北海道
理 事	柴崎 義信	宮城県
理 事	鈴木 勘重	山形県
理 事	小川 徳裕	福島県
理 事	船戸 均	埼玉県
理 事	小笠原彦郎	千葉県
理 事	和田 守義	東京都
理 事	大山 重彦	神奈川県
規約17条3項による理事	藤木 昇	神奈川県
監 事	下河邊元春	東京都
監 事	巻坂 伸治	千葉県

理 事 長
副理 事 長

事 務 局

事務局長	藤木 昇	神奈川県
事務局次	関根紀光	埼玉県
事務局次	川田光代	神奈川県
事務局員	滝沢 誠	東京都
事務局員	西園 効	神奈川県

事務局だより

S.I.J.事務局は、会の実態に合わせた行事企画と準備、実施に向かって現地との打ち合わせなど総会で決定した内容の実行を行って参りました。

2019年6月13日に、ルポール麹町で総会を開催して以来、5年振りの対面での2025年度第1回理事会並びに総会となりました。総会後の懇親会は藤島勝雄副会長のご発声に始まり、久し振りに杯を酌み交わし話しあはれました。名残を惜しみつつ、再会を約して長澤光雄参与が締めくくりました。

この5年間で、スキーを取り巻く環境が、大きく様変わりしたことを感じているのは私だけでは無くスキー界の活性化に向け、時流にあった取り組みの必要性を皆さん強く感じたところです。

広報としては、会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、広告スポンサーの募集、執行内容のホームページへの掲載・維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもし出すために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。

本部事務局は当面、横浜の藤木が窓口として業務を行っています。

事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長（理事）	藤木昇（神奈川県）	：総括・経理担当 総務担当
事務局次長	川田光代（神奈川）	：局長補佐
事務局次長	関根紀光（埼玉）	：広報担当
事務局員	滝沢誠（東京）	
事務局員	西園勉（神奈川）	

会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織（SAJの各県連組織を含む）からの会費が基本になっております。

皆様から頂く約53万円の年会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んど費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所様に請求書をお届けさせて頂きますので、何とぞ年度納付にご協力頂きたく切にお願い申し上げます。

事務局長 藤木昇

会費振込口座 みずほ銀行八重洲口支店 普通 2544124 日本スキー指導員会事務局

個人会員募集

年会費は1,000円となっています。

現在、次の府県の団体は加盟しておりませんので

個人会員として入会ご希望の方は、事務局長までご連絡ください。

◎青森県、◎秋田県、◎栃木県、◎茨城県、◎群馬県、◎新潟県、◎山梨県、◎愛知県、◎福井県

◎西日本ブロック（=S A Jのブロックに同じ）

S.I.J.のホームページ <https://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。

《編集後記》

ここ数年は、パウダースノーの銀世界にお目に掛かっていない、

今年こそはベストなスキーシーズンが訪れる事を祈願しています。

皆様にお会いできる日を楽しみに・・・。M記

編集委員：藤木 昇、川田光代、関根紀光、滝沢 誠、西園 勉、和田守義、荒井臣一、水島三千夫

2024年度 関係団体一覧

北海道	0133-74-9270	三浦光雄様方
青森県	0172-48-3490	一般財団法人青森県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	一般財団法人岩手県スキー連盟内
秋田県	018-893-6832	秋田県スキー連盟内
宮城県	022-799-7200	宮城県スキー連盟内
山形県	023-616-7073	山形県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内
栃木県	028-665-9111	栃木県スキー連盟内
埼玉県	048-591-3983	埼玉県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	一般財団法人東京都スキー連盟内
神奈川県	045-311-8907	公益財団法人神奈川県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	公益財団法人新潟県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	公益財団法人長野県スキー連盟内
山梨県	090-7401-3322	NPO法人山梨県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内
石川県	076-287-6325	石川県スキー連盟内
福井県	080-6761-4710	福井県スキー連盟内
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内
愛知県	052-757-6277	公益社団法人愛知県スキー連盟内
静岡県	0545-64-1330	静岡県スキー連盟内
三重県	059-328-5673	三重県スキー連盟内
滋賀県	077-578-0945	滋賀県スキー連盟内
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内

大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
兵庫県	0796-20-3735	兵庫県スキー連盟内
奈良県	0744-42-5358	奈良県スキー連盟内
和歌山県	0736-63-0635	和歌山県スキー連盟内
岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
鳥取県	080-4557-4675	鳥取県スキー連盟内
島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟内
高知県	088-841-5361	高知県スキー連盟内
愛媛県	090-1326-5830	愛媛県スキー連盟内
香川県	meisai@ski-kagawa.jp	香川県スキー連盟内
徳島県	090-8985-7664	徳島県スキー連盟内
福岡県	092-262-1550	福岡県スキー連盟内
熊本県	090-3196-5473	熊本県スキー連盟内
大分県	0973-79-3056	大分県スキー連盟内
佐賀県	090-1875-2521	佐賀県スキー連盟内
宮崎県	080-3961-1326	宮崎県スキー連盟内
鹿児島県	090-4344-6541	鹿児島県スキー連盟内
沖縄県	info@skioiki.com	沖縄県スキー連盟内
長崎県	0956-59-2127	長崎県スキー連盟内
公益社団法人全日本学生スキー連盟	03-3384-7913	
公益財団法人全国高等学校体育連盟スキー専門部	0577-32-5320	
公益財団法人全日本スキー連盟 教育本部		
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号	03-5843-1525	



<https://store.shopping.yahoo.co.jp/boya-mart/>



INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第40号) (非売品) 2024年10月1日発行
 編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔
 印刷所 水戸屋紙工株式会社
 発行所 日本スキー指導者協会事務局
 〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 4-43-23
 TEL & FAX 045-774-8155 E-mail nobfjk@b03.itscom.net
 URL <https://sij.arts-k.com/>